

(活動報告書様式)

団体名	酒田福祉住環境を考える会		
事業名	健康で長生きするための住環境および浴室環境・入浴事故防止		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【自由提案部門】		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	482,539円
		うち助成金額	481,659円

写真①



写真②



写真③



■事業目的

高齢になっても、障害があっても、愛着のある自宅・地域で暮らし続けたいと思うのは市民の願いである。

①当会では、これまで入浴事故に対して、啓発活動を行ってきた。今回、シンポジウムを開催し、最新の予防方法や事故の状況等、情報交換する場を設けることで、今後地域一体となった取り組みを構築する足がかりとする。

②庄内地方ではまだ作成されていない住宅改修の事例集を作成することで、ケアマネジャーや住宅改修に関わる職種が自立支援に繋がる改修ができるようになり、地域住民の健康長寿に繋げる。

■実施内容

①入浴事故防止のシンポジウム開催（写真①②）

令和元年11月9日に酒田で『楽しく入ろう！健康入浴のススメ 入浴事故予防をみんなで

考えるシンポジウム』を、市民を対象として開催した。

パネリストは、庄内保健所、酒田地区広域行政組合消防本部、株式会社ノーリツ温水事業部、当会建築士。

②ケアマネジャー向けの手すりに特化したガイドブック作成（写真③）

ガイドブックは、住宅改修に係る介護給付において最も施工割合の多い手すりの設置に関する内容を主とし、専門職（建築士・施工業者、福祉用具貸与事業者、理学・作業療法士）の見方やチェックポイントを記載。作成に当たり、住宅改修の経験があるケアマネジャーに対してアンケートを実施し、悩み等を聴取。アンケート結果を踏まえて、ケアマネジャーが自立支援に繋がる改修をコーディネートできるよう、住宅改修を進めるポイントを記載した。

■事業の成果・今後の展望

①各パネリストが、所属する企

業・団体の取り組みを紹介した上で、参加者を交えた意見交換が活発に行われた。アンケート結果より、参加した市民からは、「適切な入浴方法を知ることができた」、「それぞれの専門職種から事故の対策を聞く事ができ参考になった」等の意見があり、入浴事故に関する正しい情報や裸で死なない方法を学んでもらうことができた。参加者は42名。

②庄内地区の居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等、ケアマネジャーが所属する事業所へ配布。今後、ガイドブックを用いて、研修会を開催していく。

酒田福祉住環境を考える会（さかふく）は、「愛着のある自宅・地域で暮らし続けたい」高齢者・障がい者を支援するため、介護・建築・医療・行政など業種の枠を越えて、活動しています。

facebook・YouTubeで当会の活動を紹介しています。